

### 奥沢地区の催し物ご案内

日時	内容	時間・場所等
7月3日(日)	中古衣料・古布回収	9時～正午 奥沢小学校正門前
7月8日(金)、9日(土)	さぎ草展	8日(金) 10時30分～16時 9日(土) 10時～15時 両日とも奥沢区民センター
7月10日(日)、11日(月)	食で応援プロジェクト	10日(日) 奥沢交和会 11日(月) 東玉川地区会館 いずれも 10:00～11:30・13:30～15:00
7月22日(金)	いきいき講座 テーマ「金銭管理が必要な理由」	13時～14時30分 奥沢まちづくりセンター2階活動フロア
7月28日(木)	子育て支援事業(子どもの居場所づくり) なかよし子どもスペース	14時～17時 東玉川ふれあいルーム(東玉川地区会館1階)
7月30日(土) 予備日31日(日)	奥沢交和会盆踊り大会	夕方～ 奥沢小学校
8月5日(金)	青少年奥沢地区委員会 飯ごう炊はん	横浜市こども自然公園
8月25日(木)	子育て支援事業(子どもの居場所づくり) なかよし子どもスペース	14時～17時 東玉川ふれあいルーム(東玉川地区会館1階)
9月22日(木)	子育て支援事業(子どもの居場所づくり) なかよし子どもスペース	14時～17時 東玉川ふれあいルーム(東玉川地区会館1階)
10月15日(土)、16日(日)	奥沢文化祭	奥沢区民センター
10月27日(木)	子育て支援事業(子どもの居場所づくり) なかよし子どもスペース	14時～17時 東玉川ふれあいルーム(東玉川地区会館1階)

※6月21日現在の情報で作成しています。詳細はお問い合わせください。

**新しい年度になっての各所の顔ぶれをご紹介します。よろしくおねがいたします。**  
(撮影時に限りマスク非着用といたしました)

#### 【あんしんすこやかセンターです】



奥沢あんしんすこやかセンターでは、生活に関するお困りごとや介護予防や介護に関すること、認知症に関する相談など幅広くお受けし、また最近ではフレイル予防に力を入れており、外出の機会や運動の機会を作れるように一緒に検討させていただきます。

上段左から 渡部社会福祉士・北澤管理者兼主任介護支援専門員(4月異動) 篠崎管理者兼主任介護支援専門員、小山保健師

下段左から 岡留社会福祉士・田中看護師・角川保健師

#### 玉川地域社会福祉協議会



奥沢地区担当 佐藤・貞清・玉川地域社協事務所長 中尾

#### 奥沢まちづくりセンター



吉津係長、本田所長、保坂加藤、柳澤

**<寄附・募金報告> ~ありがとうございます~**  
5月10日 豊島工務店 54,587円

皆様よりいただいたご寄附は、奥沢地区社会福祉協議会が行なう、小学生福祉体験見学会(奥沢小学校・東玉川小学校 4年生対象)や、インボディ測定会、ココロン椅子の設置などの事業に活用させていただきます。

**【編集後記】**  
最初はしばらくの間の我慢で済むはずと、誰もが思っていたに違いない。感染症の猛威。来週になって来月になって、翌年になっても、いよいよ今年が明けても、みんなマスクをして「ほんとだったら今頃は・・・」という想いを抱きながら過ごしているうちに「運動不足になっちゃった」とか「遠くに行かなくても暮らせるね」などという会話が聞かえ、子供たちの顔には日焼けでついたマスクの形。そうはいっても住民力のあるこの地域、できることを工夫しながら少しずつ少しずつ、進もうとしています。さあ、皆さんも一緒に！



2022年6月30日発行

第45号



発行：奥沢地区社会福祉協議会 東京都世田谷区奥沢3-15-7 奥沢まちづくりセンター内  
Tel.070-3946-9796 e-mail: okscocoron@yahoo.co.jp



## 社会福祉協議会(社協)の会費募集のお願い

奥沢地区社会福祉協議会(以下、奥沢地区社協)では、例年7月・8月を募集強化期間として、地域の皆様にご理解とご協力をいただいておりますが、新型コロナウイルス感染症防止等を踏まえ、昨年度に続き今年度も、会費募集につきましては、通年で募集を行うことになりました。大変恐縮ではございますが、お互いに支えあう仕組みとして、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

振込先	社会福祉法人世田谷区社会福祉協議会 郵便振替口座番号 00140-5-544151
-----	--



#### <会費の使われ方>

皆様にご協力いただいた会費

50%

奥沢地区社協の活動に活用されます

50%

世田谷区社協が行う全区的な事業に活用されます

#### 会費額(年額)

- 一般会員:300円以上
  - 特別会員:5,000円以上
  - 法人会員:5,000円以上
- ※法人からご協力いただく会費は、法人税法上の「損金算入」の対象になります。

奥沢地区社会福祉協議会 会長 小林喜美江

さて新型コロナウイルスが来襲して三年になります。感染者は減少しておりますが終息は見えません。日本もウィズコロナで経済活動に舵を切りましたが、生活困窮者は減ることはありません。社協が窓口となっている特別貸付も八月まで延長されましたが返済を考えると足を踏む人が出ています。こんな中でウクライナの悲惨な戦禍の状況を目にしますと、ますます心が重くなります。この影響でエネルギーをはじめ、物価の上昇も出てきました。今まで以上に身も心も悲鳴をあげる人が増えると思われまふ。地域福祉推進員の私達は、地域の課題を見極め、人に寄り添いながら活動をしなければと強く思います。その一環として、コロナ禍の中、活動を始めた「食で応援プロジェクト」「子どもの居場所づくり」等の事業も少しずつ前に進んでいます。本年度も通年行なっております福祉学習や健康増進事業その他の事業を含め、感染対策をし、状況を見ながら活動をしてまいります。また休止されていたサロン活動等も徐々に始まりまふ。元に戻るには少し時間がかかるかと思いますが、皆様の支え合いで快い方向にむかうものと思っております。福祉のまちづくりを目指し、皆様のより一層のご協力をよろしくお願い致します。

#### 会長挨拶



奥沢地区社会福祉協議会令和三年度は、コロナ禍の中、約半数の事業を実施することができました。これも皆様の多大なるご協力の賜物と心よりお礼申し上げます。ありがとうございます。